



学校(学科)情報

令和9(2027)年度入学者選抜用(全日制課程)

学校名	とちぎけんりつなすたくようこうとうがっこう		所在地 及び アクセス	〒329-2712
		栃木県立那須拓陽高等学校		栃木県那須塩原市下永田4丁目3-52 JR西那須野駅より徒歩7分
課程	生徒数 (R8.5.1現在)	設置学科	電話	0287-36-1225
全日制課程	693人 男 327人 女 366人 R8.5.1 現在	農業経営科 生物工学科 食品化学科 食物文化科	学校HP	https://www.tochigi-edu.ed.jp/nasutakuyo/nc3/ 
クール・ミッション	持続可能な食・農・環境・地域を目指す学習を通して、自らの力で人生を拓き、広く社会に貢献する人材を育成する学校			
スクール・ポリシー	<p>【グラデュエーション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような資質・能力を育成します。</p> <p>【全学科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性と協働性を高めるとともに、学力とコミュニケーション力を育成します。 ・現状を分析し課題を発見する力と、課題解決に必要な思考力・判断力を育成します。 ・地域社会の発展に貢献し、産業界で活躍できる技術力・実践力を育成します。 <p>【カリキュラム・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような教育活動を実施します。</p> <p>【全学科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、課題に対し研究・探究していく学習を実施します。 ・多様な選択科目を設定し、生徒個々の関心や進路希望に応じた学びを実現します。 ・地域と連携し、勤労観や職業観を養うキャリア教育を推進します。 <p>【アドミッション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような生徒の入学を期待しています。</p> <p>【全学科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者への思いやりを持ち、積極的にコミュニケーションを取ることができる生徒 ・生物生産や食に興味があり、実験・実習に関心を持っている生徒 ・専門性を身に付け、地域社会の発展に貢献したいと思っている生徒 			
その他特記事項	令和11年度、那須清峰高校と統合され未来共創型専門高校(仮称)へ再編されます。			

入試情報(全般)

学力検査と調査書の 評定等の比重	学力検査(学力点)						調査書の評定 (調査書点)	学校独自検査 (独自検査点)
	国語	数学	英語	社会	理科	計		
特色選抜	100	100	100	100	100	500 [25%]	600 [30%]	900 [45%]
一般選抜	100	100	100	100	100	500 [59%]	350 [41%]	—
選抜の手順等	<p>【第1次選抜(特色選抜)】</p> <p>調査書や学校独自検査結果を重視し、学力検査結果も活用して選抜する。</p> <p>「資料の取扱い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現シートは、調査書とともに、資格要件の確認及び学校独自検査時の参考資料として用いる。 ・調査書の「特別活動の記録」の「特記事項」及び「その他参考となる諸事項等の記録」は、学校独自検査時の参考資料とし、学校独自検査を通じて見取った内容を踏まえ評価する。 ・学校独自検査で見取った内容は、「学校独自検査の評価表【別表1】」を基に評価する。 <p>「選抜の手順」</p> <p>第1次審議 学力点、調査書点及び独自検査点の合計が、上位 70%以内にある者(ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の 70%以内の者)、かつ学校独自検査の評価の観点ア、イ、ウが優秀または良好な者を合格とする。</p> <p>第2次審議 第1次審議で合格となった者を除いた受検者について、学力点、調査書点、学校独自検査点、調査書の点数化されない部分を総合的に十分勘案して合格者を決定する。</p> <p>【第2次選抜(一般選抜)】</p> <p>学力検査結果を重視し、調査書等を活用して選抜する。</p> <p>選抜の詳細については、令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則のとおり。</p>							
第2志望の志願等	一般選抜において、農業経営科、生物工学科、食品化学科のなかで第2、第3志望を志願できる。							
合格者発表	日時	令和9年3月12日(金)午前10時から						
	場所	本校第2体育館前						
	その他	入学予定者説明会を、3月25日(木)9時から実施する。						

特色選抜入試情報

特色選抜の割合	【全学科共通】 30%
特色選抜資格要件	<p>志願する科の特色を十分理解し、専門の学びを活かして地域貢献しようとする者。その上で、それぞれの科ごとの(1)(2)のいずれかまたは全てに該当する者。</p> <p>※(1) 志願する学科における資格要件(下記のとおり)</p> <p>(2) 全学科共通 スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等において県大会入賞等の実績を有し、入学後、本校の教育活動に積極的に取り組む意志のある者</p> <p>【農業経営科】 (1) 農業または農業経営に対して興味・関心を示し、将来その分野への進路を明確に定めており、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【生物工学科】 (1) バイオテクノロジーや野菜、草花栽培に対して興味・関心を示し、将来その分野への進路を明確に定めており、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【食品化学科】 (1) 食品製造・食品化学に対して興味・関心を示し、将来その分野への進路を明確に定めており、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p> <p>【食物文化科】 (1) 基礎的な調理技術を持ち、食物・栄養・調理に対して興味・関心を示し、将来その分野への進路を明確に定めており、入学後も意欲的に学習に取り組む者</p>
自己表現シートの学校独自質問	なし
選抜の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 ※一般選抜で実施する学力検査をもってこれに代える。 ・学校独自検査 <ul style="list-style-type: none"> ① 「プレゼンテーション」 受検生は、自分自身のこと(得意なことやこれまで取り組んできたことなど)や本校に入学した後の目標などについて自分で選んだ言葉や方法で表現する。 ② 「個人面接(学科に関する口頭試問を含む)」 ※自己表現シートを活用する。資料や作品を提示してもよい。ただし、プレゼンテーションで使用する情報機器の貸出は行わない。 ※検査時間は、①と②を合わせて1人あたり13分程度を基本とする。 (プレゼンテーション3分程度、個人面接8分程度、入退室2分程度)
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書 ・調査書 ・自己表現シート ・その他必要な書類
検査当日の日程	<p>2月25日(木)、26日(金)</p> <p>※26日は実施しない場合もある</p>

	学校独自検査の開始時刻及び終了時刻は受検者によって異なるので、受検票の印刷時の諸連絡でお知らせする。
検査当日の必携品	令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則に定められたもののほか、プレゼンテーションで使用する資料や機器等は、必要に応じて各自で準備し持参すること。
検査実施に係る その他の事項	プレゼンテーションで使用する情報機器の貸出や、機器等に不具合が生じた際のサポート、時間的配慮などの特別な対応は行いません。

一般選抜入試情報

選抜の方法	学力検査	
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書 ・調査書 ・その他必要な書類 	
検査当日の日程	2月24日(水)	備考
	学力検査日の受付、学力検査時間については、入学者選抜実施細則のとおり。	海外帰国者、外国人等の措置を受ける場合には、日程を別途連絡する。
傾斜配点	なし	
検査当日の必携品	令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則に定められたものを持参すること。	
検査実施に係る その他の事項		

【別表Ⅰ】学校独自検査の評価表

評価の観点		
ア 自己決定力・探究心	イ 表現力・コミュニケーション力	ウ 意欲・態度
評価規準		
夢や目標、やりたいことなどを自分なりに探究し考えを深めている。	自分自身のことや自分の考えをしっかりと伝えることができる。	専門性を身に付け、地域社会に貢献しようとする意欲がある。
評価基準		
「優秀であると評価できる」状況 自分の夢や目標、やりたいことなどについて具体的に考えを深めている。	「優秀であると評価できる」状況 自分自身のことや自分の考えを十分に伝えることができている。	「優秀であると評価できる」状況 十分な意欲が認められる。
「良好であると評価できる」状況 自分の夢や目標について、概ね方向性を持ち、前向きな姿勢が見られる。	「良好であると評価できる」状況 自分自身のことや自分の考えを概ね伝えることができている。	「良好であると評価できる」状況 概ね意欲が認められる。
「概ね良好であると評価できる」状況 自分の夢や目標について一定の関心はあるが、考えが十分にまとまっていないため、方向性が不明確な部分がある。	「概ね良好であると評価できる」状況 自分の考えを伝えようとする姿勢はあるが、説明が不十分であったり、内容が伝わりにくかったりする部分が見られる。	「概ね良好であると評価できる」状況 意欲が部分的に認められるが、取り組みが継続していなかったり、主体性が不足する場面が見られたりする。
「努力を要する」状況 自分の夢や目標について、考えがまだ漠然としており、具体性に欠ける。	「努力を要する」状況 自分自身のことや自分の考えを伝えることができていない。	「努力を要する」状況 意欲が認められない。
独自検査点の算出方法		
それぞれの観点について、3段階で段階評価する。 3人の評価者の段階評価から総合したものを基に、(900)点満点で独自検査点を算出する。		